

大阪府済生会野江病院を受診された患者さんへ

当院では下記臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で研究への協力を希望されない場合は、下記担当窓口までご連絡下さい。

研究課題名	オピオイド誘発性の消化器系副作用の予測因子の探索に関する検討
研究責任者	(所属・職名) 薬剤科 部長 (氏名) 高橋一栄
研究の背景	オピオイド誘発性の副作用を予防することは疼痛マネジメントにおいて重要な課題である。
研究の目的	本研究の目的は、がん疼痛患者におけるオピオイド導入時の悪心・嘔吐および便秘の発現状況についてレトロスペクティブ調査を行い、OINV および OIC の予測因子を探索することである。
研究期間	2010～2019 年のカルテ調査
研究方法	・対象となる患者さん
	当院においてオピオイドを導入された患者さん
	・使用する試料等
	カルテに記載された副作用の発現状況等
研究組織	大阪府済生会野江病院 薬剤科
	・研究代表者
	(所属・職位) 薬剤科 部長 (氏名) 高橋一栄
	・その他の共同研究機関
	京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター
個人情報の取り扱い	研究対象者の匿名化は、研究対象者 ID とは独立した賦番した番号にて行い、研究発表、論文等で個人が特定できないようにする。
研究の資金源 (利益相反)	無し
担当窓口	(電話番号) 06-6932-0401 (代表) (担当者) 薬剤科 山田正実
備考	